

(様式4)
令和6年3月5日

令和5年度 第3回 大阪市立墨江丘中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立墨江丘中学校
校園長名 林 憲治郎

日 時	令和6年3月4日(月)		
場 所	大阪市立墨江丘中学校		
出席者	委員など	加藤 孝之(会長) 清水 里佳(書記)	村田 望(委員)欠席 中谷 亨(委員)
	校園	林 憲治郎(校長)	橋口 徳治(教頭) 島谷 裕美子(学校元気アップ地域本部)
	区役所	佐藤 忠義(課長代理)	
議題	<ul style="list-style-type: none">(1) 学校運営に関する計画(最終評価について)(2) 全国学力学習状況調査・チャレンジテスト・全国体力・運動能力調査について(3) 学校評価アンケート結果について(4) 学校元気アップ推進事業活動報告(5) その他 工事関係の日程について <p>新年度行事予定表について(新入生予定について) 創立50周年について PTA掲示板の撤去について 調理室工事完了 R6.3月末予定 体育館建て替え工事 R7年12月～R9年2月完成予定 個別学習ルーム8部屋整備工事完了</p>		
協議要旨	<p>協議の結果</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 出欠の確認(2) ○教頭より(3) 学校運営に関する計画の説明 <p>○加藤委員より</p> <p>○清水委員より</p>		<p>意見の概要</p> <ul style="list-style-type: none">○学校運営に関する最終目標の現状と課題において、説明○学校自己評価アンケートについて、5年間の過去評価との比較について○肯定的な意見も上がっている項目もあるが、どちらかというと思わない、思わないという否定的意見の項目に着目すると、進路・補充学習・学校情報発信など課題も明らかになってくるので着目して分析が必要。○学校ホームページの活用について 個人情報の部分も大きいがミマモルメなどのシステムと同時にホームページへアップをすることでいつ、どこでもさらに学校の様子をみれるようになる。

	<p>○加藤委員より 全国体力調査の結果、握力だけが毎年低いのには何か原因はあるのか？？</p>	<p>(校長より) 日常生活の中でも学校のカバンが手提げではなく、リュックになったことも原因の1つとして考えられるのではないか？ 体育の授業の中だけではなく、部活動の入部率、運動が好きだというところについても関連していないか分析が必要。</p>
(4)	<p>島谷委員より ○学校元気アップの年間報告 今後、地域の人材と学校生徒とのつながりをつくるアイデアを募集して企画していきたい。</p> <p>その他 (中谷委員より) ○ヤングケアラーの実態についてどのような状況なのか教えてほしい。</p>	<p>(教頭より) テスト関係の分析として、本校の課題としては理数系が各学年とも課題である。 今後、重点的な課題克服のための取り組みを検討していく。</p> <p>(加藤委員より) ○異文化交流などはどうか？ ○国際交流、言語学習など、遊びの中で子供たちが自らしたいことを考えて企画して運営する方法を提案。</p> <p>○教頭より 家庭環境的に、どうしても中学生が妹弟の送り迎えをしなければならない状況や、兄弟の看病などをしなければならないことがある。ヤングケアラーの実態を把握しているだけで、解決策の施策が無いことも今後の課題となる。</p>
	<p>(教頭より) 連絡事項</p> <p>○学校長より</p>	<p>○学校長より 学校としての価値が問われている。今までの学校教育で正しいとされていたことが、コロナアフターで、価値観の多様化で正しいことならなくなっている。 学びの多様化、学校に行くべき価値とは何なのかを問われている。 学校は変わらないではなく、変わらなければならない状況であることを受け止めていかなくてはならない。これから時代の子供たちにどのような力をつけるべきかを考えて今後も進めていきたい。 学校の先生が先導する時代から、子どもたちが先導しつつ、先生がそれをサポートする時代へと学校の変化を大阪市でも先行して取り組んでいきたい。</p>

協議 資料	<ol style="list-style-type: none">1. 「令和5年度 運営に関する計画」最終評価2. あゆみ チャレンジテストの結果・全国学力の結果・体力調査について3. 元気アップ資料4. 学校自己評価アンケートについて
	傍聴者 なし